

山口県の認知症グループホームの地域貢献活動について、  
その取組についての研究

報 告 書



一般社団法人 山口県宅老所・グループホーム協会

調査研究部

# ご挨拶

一般社団法人 山口県宅老所・グループホーム協会では、「宅老所や認知症高齢者グループホーム等の研修及び研究に関する事業」を実施することを、定款に定めております。

今まで、事業所のOA環境の導入状況や、利用者入院時の居室保証に関する状況調査を行ってまいりましたが、今回、公益財団法人大同生命厚生事業団より、地域保健福祉研究助成金を頂戴いたしまして、「山口県の認知症グループホームの地域貢献活動について、その取組についての研究」を行うことになりました。

調査研究にあたっては、会員事業所の皆様に、ご多忙にもかかわらずご協力を賜り、誠に感謝いたしております。

ここに研究成果をまとめましたので、ご報告をさせていただきます。

平成28年10月31日

一般社団法人 山口県宅老所・グループホーム協会  
調査研究部 藤本雅弘  
越野淳子





【表 ー 1】

問 1 貴ホームでは地域貢献活動に取り組んでいますか。

はい	いいえ	不明	合計
63	9	7	79

問 2 地域貢献を行う事は必要だと思いますか。

思う	思わない	どちらでもない	不明	合計
76	0	1	2	79

問 3 貴ホームで地域貢献として考えられている活動とはどんなジャンルですか。(複数回答可)

地域参加等のボランティア活動	地域とのふれあい活動	災害支援活動	行事の後援や共催	介護者教室等	献血等 人道支援	物品の 寄贈	防犯活動、交通安全、募金	その他
68	60	46	36	33	12	6	25	9

(その他事項)

- ・ 中学校評議員
- ・ ライオンズクラブ会員
- ・ 自治会会員
- ・ 実習受け入れ
- ・ 古紙回収

問 4 貴ホームが地域貢献活動を行う事で、どのような意義があると思いますか。(複数回答可)

地域参加の促進と継続性	ボランティア精神の向上	採算性の向上	ホームへの理解力向上	地域の活性化	特に意義は感じない	わからない	その他
71	27	12	60	41	0	0	4

(その他事項)

- ・ 社会福祉法人の社会的信頼性の保持
- ・ 災害時の相互協力
- ・ 人道上相互理解

問 5 貴ホームで取り組んでおられる地域貢献活動があれば、具体的に記入して下さい。

- ・ 福祉避難所の指定を受け災害支援体制を整備
- ・ 地域交流室の貸出
- ・ 足湯の提供
- ・ 幼稚園、小学校、中学校への行事参加
- ・ 地区回覧板の回覧
- ・ ボランティアの受け入れ
- ・ 認知症カフェの開催
- ・ 喫茶サロンの開催
- ・ 地区の交通立哨
- ・ ゴミ収集所の提供
- ・ 子供110番
- ・ 地区防犯活動支援
- ・ 海岸清掃
- ・ スポーツ少年団の後援
- ・ 昭和レトロコンサートの開催

問6 まだ取り組んではいないが、今後取り組みたい地域貢献活動があれば記入して下さい。

- ・介護教室の開催
- ・避難場所の提供
- ・地域との合同避難訓練
- ・地区の清掃活動
- ・地区の学校への介護技術の出前講座
- ・介護劇や紙しばいの開催
- ・地域との共催行事
- ・草刈りボランティア
- ・地区の他福祉施設との合同行事

問7 地域貢献活動に取り組むためには何が必要ですか。(複数回答可)

ノウハウの提供	財源	マンパワー	コーディネーター調整役	地域の理解	経営者の理解	その他
48	24	59	46	47	22	0

問8 地域貢献活動に取り組みたいが、なかなか取り組めない理由は何ですか。(複数回答可)

財源不足	マンパワー不足	ノウハウ不足	地域の理解	経営者の理解	その他
19	55	47	20	8	2

(その他事項)

- ・利用者の重度化により業務以外の時間がとれない。

問9 地域貢献活動に連携が必要と思われる機関に○印をつけて下さい。(複数回答可)

公共機関	福祉・医療団体	地縁組織	教育機関	民間企業	必要ない	その他
61	50	73	53	31	0	0

問10 その他、地域貢献活動についてご意見がありましたら、遠慮なくご記入下さい。

- ・人材不足から業務が多忙を極め職員が疲弊感を感じており、地域貢献にまで気がまわらない。
- ・グループホーム単体での地域貢献活動は難しい。
- ・介護業務以外を職員に負わせる事は困難。意義は感じるがサービス残業として活動させている現状では余力がない。
- ・行政がもっとコーディネーターとしての機能をはたしてほしい。
- ・取り組みたいが、ノウハウがないので具体的な取り組み方法がわからない。
- ・地域住民にホームの理解を深めるため、積極的に地域貢献に取り組みたい。
- ・山口県宅老所・グループホーム協会内で、地域貢献活動の情報交換をしてほしい。

## (2) 個別ヒアリングの結果

アンケート結果において、特に意見を記載された事業所については個別に取材を行い管理者等からヒアリングを行った。

ちょうど、アンケート回答期間に熊本地震が発生したこともあり、地域貢献の意味に災害対策や地域防災をあげるところが多く、結果についても、その点を重要視している結果となった。

アンケートに回答している方の職名をみると、事業所の社長や管理者など、経営的立場や管理的立場の方が約80%であり、現場の介護職員であった課長や主任など、リーダー的立場の方がほとんどであった。

事業所のほとんどが地域貢献の必要性を感じているものの、実際に取り組めている事業所は、その数よりも少ない結果となっている。

これは、意見にもあるように、地域貢献の必要性は十分に感じているものの、昨今の介護業界の人材確保難から、介護業務以外の仕事を職員に負わせる事に関して、経営サイドの苦難があるように感じられた。

しかしながら、地域密着型をうたっているグループホームにおいては、おしなべて地域貢献に前向きな事業所が多いことに、取材を通して驚かされた。

## 4. 考察と結論

回答のあった事業所の96%が地域貢献活動の必要性を感じているものの、実際に取り組んでいる事業所は80%にとどまっている。

その理由として、約半数の事業所がマンパワーの不足とノウハウの不足を理由としている。逆に、地域貢献活動に取り組むためには、マンパワーとノウハウの提供が不可欠であり、アンケートの結果からみると、それに地域の理解が続く。

グループホームは事業所の指定権者が平成18年度から県から市町村に委譲され、地域密着型サービスに位置づけられたが、山口県においても都市部と農村部では地域性も随分異なり、事業所によって、地域との関係性が保たれているところと、そうでないところがあり、それが地域貢献活動を阻害する一因にもなっているようである。

事業所が地域貢献活動を行う上で、連携していきたい相手としては、行政や他の福祉団体のようにフォーマルな団体よりも、地域固有の地縁組織のようなインフォーマルな団体の方との連携の必要性を感じている事業所の方が多かった。

これは、地域の回覧板が自宅と同じように回覧されてきたり、自治会のインフォーマルな活動にも積極的に参加していくグループホームの姿勢が、強く感じられる結果となっている。

そもそも、地域貢献活動を行う意義として、グループホームが地域の一員だという意識を、ほとんどの事業所が持っており、所在地域の活性化を願うとともに、地域にグループホームの存在意義を理解してもらいたいという気持ちが、十分に感じられる結果となっている。

地域貢献活動の種類としては、地域の行事に職員がボランティアとして参加したり、ホームのお年寄りや地域の方々のふれあいを主体とした交流行事が多いが、これから取り組んでいきたい活動として、地区との合同避難訓練や防災活動、地区の清掃活動や草刈りなど、ホームが地域に無償で提供する奉仕的意味合いの強い活動が多いことが、とても素晴らしいことだと感じた。

当会は、非営利法人も営利法人も区別することなく会員事業所として同じ立場で入会されているが、地域貢献活動に取り組むための法人の環境に差異はあるけれども、取り組んでいる内容や考え方には大きな違いはないように感じた。

## 5. おわりに

本調査研究によって浮かび上がってきた課題は、多くのグループホームにおいて地域貢献活動に積極的に取り組んでいきたい気持ちはあるものの、介護業界全体にはびこる人材確保の困難さが、その活動を阻害している一因になっているようであった。

また、営利法人と非営利法人が混在して介護サービスを提供している業界にあつて、社会福祉法人をはじめとする非営利法人においては、社会的使命感によって地域貢献活動に取り組む姿勢は感じられるが、株式会社などの営利法人の一部において、3年ごとの介護報酬の改定、特に最近のマイナス改定による収益の悪化が、地域貢献活動に取り組むべくともマンパワーの確保が十分にできず、活動を阻害している要因の一つになっている事もあるようだ。

最後に、本調査研究の成果は当会のノウハウとして蓄積し、会員事業所だけにとどまらず、山口県内の他の介護事業所等にも広く周知されるべく、研究の成果を広報誌等にまとめて配布していきたい。

## 【謝辞】

本調査研究にあたり、当会の会員事業所の皆様には、アンケートや取材に快く協力いただき、厚く御礼申し上げます。

また、このような取組に助成をいただいた大同生命厚生事業団に、深く感謝申し上げます。



# 地域貢献活動例の紹介

## ○グループホームみかん畑

山口県大島郡周防大島町西方463

H18.6.1開設 定員18名

当ホームは自治会に加入し、職員が地域の河川や海岸の清掃活動に、毎回参加しております。地域との結びつきを大切にし、地域のお祭りやお大師参り（八十八箇所）、地元の敬老会にも積極的に、お手伝いとして参加しております。

地域から必要とされるホームであり続けるために、毎日の散歩等でのなにげない地域の方との会話などで情報交換をしながら、地域に役立つボランティア活動を続けております。



## ○グループホームせせらぎ

山口県周南市大字鹿野上2755番地の1

H13.2.1開設 定員9名

地域貢献活動は法人全体で取り組み、地域の方や子供たちを対象に介護教室を開くなど、福祉・介護教育を通じた地域貢献活動に力を注いでいます。

最近では、「介護職員初任者研修」を定期的で開催し、地域に訪問介護員（ヘルパー）をたくさん輩出し、地域の介護力向上にも一役かっています。

また、近くの幼・小・中・高等学校へ職員が出向いて、総合的な学習の時間などに講義をおこなったり、学生さんがホームを訪問して介護実習を行うなど、地域の子供たちとの交流行事も積極的に行っています。



## ○グループホームなのはなの家

山口県宇部市笹山町2-8-16-4

H12.7.1開設 定員9名

当ホームは、月に90名ほどの近隣者が訪れ、避難訓練も地域の行事として行われるなど、地域の方との交流が非常に盛んです。介護セミナーの開催やAEDの勉強会、最近では看取りの勉強会を地域の方と一緒に行いました。敬老会には、小学生の児童が自分たちで考えた出し物を持って遊びに来てくれますので、終わった後は、みんなで地域の方に作ってもらっているホームの畑で、芋ほりをして喜んでいただいています。「地域の中にグループホームがあり、認知症の人がいるのが当たり前の風景になった」といっていただけるほど地域に根ざしたグループホームで、さらに私たちが一地域の住民として活躍できるように、交流を深めていきたいと思えます。



## ○グループホームはるひ苑

山口県山口市仁保中郷2321-2

H14.10.1開設 定員18名

当ホームは長い間、阿東町地福の古民家を改築して運営しておりましたが、平成25年に山口市二保に新築移転いたしました。地域貢献活動として、地域で不要となった新聞紙や古紙をホームが回収し、ホームの利用者に折り紙を折ってもらいゴミ箱を作って、ホームで利用しております。それが利用者の方の余暇活動や、手の運動にもなっており、地域もホームも両方助かっております。また、家庭で茶碗やコップなどが不揃いになって不要になったものを、ホームにいただいて活用させていただくことも多く、地域での不要品をホームで活用させていただくことが、お互いに助かっている活動となっています。

利用者や職員が地域にこちらから出向いたり、古紙を地域の方が持参されたりと、それが地域とホームの良い交流にもなっております。



---

## ○グループホームニコニコ創

山口県防府市上右田2458-1

H15.4.1開設 定員18名

当ホームは、自然の美しさの囲いの中にありますので、利用者の方が散歩をされている時によく地域の方と出会います。そこでおしゃべりが始まり、地域の行事の話になったりして、先日は職員と利用者が、地域の清掃活動に参加いたしました。

地域の方も良くホームを訪ねて来られ、教会のシスターも毎週来られて、レクリエーションを一緒に行ったり、お話をしてくださったりします。

また、以前は近くの看護学校の生徒さんも、良く実習に来られていました。

ホームの花壇の手入れや草取りを、地域の方と利用者が一緒に行い、それがとても良い地域交流の場となっております。



---

## ○グループホーム王喜の郷

山口県下関市王喜本町6-1-12

H14.4.1開設 定員9名

当法人では、地域の夏祭りや文化祭に模擬店を出し、ホームの利用者も参加するなど、地域の行事に積極的にかかわっております。また、ホームでは8年前より「昭和レトロコンサート」を月1回定期的に開催しております。毎回、職員がレコードを持ち寄り、10人から20人の地域の方がホームを訪れて、利用者と一緒に懐かしい昭和の歌声に耳を傾けたり、懐かしい昭和の歌手の撮りだめたビデオ映像を、一緒に楽しまれたりしております。すっかり地域の方には常連さんも多くなり、口コミで宣伝されて、開催を楽しみにされている方も多いようです。職員が簡単な体操を皆さんとしたり、おしゃべりの時間を一緒に持ったり、地域とホームの良い交流の場となっております。





---

## ○グループホームのんた

山口県周南市戸田2806-1

H14.6.1開設 定員18名

当ホームでは、地域に根ざした活動を心がけており、敷地内を、市内の幼稚園バスの送迎場所として開放しており、利用者の方が幼稚園児の見送りをされたり、その時に保護者の方とおしゃべりを楽しまれたりして、それが地域との情報交換の場となっております。

地域との交流も盛んで、花見会を一緒に開催したり、ホーム主催の祭りには、地域の子供たちも沢山参加して、それが地区の恒例行事にもなっております。

また、地区の自主防災組織に加入し、年に数回は訓練や会議にも参加し、災害時の地区との連携を重視するとともに、地域に役立つホームとなるように、常に心がけています。



---

## ○24時間宅老所 新田の楽さん家

山口県防府市新田966-1

H13.5.1開設 定員9名

当ホームは、地域貢献活動の一環として、職員が中心となり「劇」を通じて認知症の方との関わりを知って頂く活動をしています。

それは、日頃ホームを支えて下さる地域への恩返しとして、地区の公民館へ出向いたり、学校や未就学児の集まりなどで劇や紙芝居を披露しています。

『認知症の方にも、優しくしようと思った。』（中学生より）

『久しぶりに、こんなに笑った!』（地域の方より）

と、観客参加型の劇を取り入れ、笑いのある「劇」となるように心がけています。

認知症の方でも地域で過ごしやすいよう、願いを込めてこれからも活動を行っていきます。



発行日 : 平成28年10月31日  
印刷所 : 株式会社ふじたプリント社  
発行者 : 一般社団法人  
山口県宅老所・グループホーム協会

(事務局所在地)

山口県防府市八王子一丁目23番4号 2F

tel. 090-8998-8977 fax.0835-22-6536

<http://www.yamaguchi-ghr.com/>